



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月28日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	258,768	△0.2	5,478	△4.2	5,750	△7.8	2,958	2.7
2019年12月期第1四半期	259,210	△1.3	5,716	△23.2	6,237	△16.4	2,879	△23.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 300百万円 (△95.9%) 2019年12月期第1四半期 7,342百万円 (198.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	13.61	—
2019年12月期第1四半期	13.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	703,438	354,081	46.0
2019年12月期	728,149	358,416	44.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 323,261百万円 2019年12月期 327,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	20.00	20.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	533,400	1.8	14,600	8.4	15,600	5.5	8,150	3.8	37.49
通期	1,076,000	1.4	27,500	10.8	30,000	8.6	15,000	8.2	69.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期1Q	220,282,860 株	2019年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年12月期1Q	2,891,566 株	2019年12月期	2,891,566 株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期1Q	217,391,294 株	2019年12月期1Q	217,391,487 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が大幅に下押しされ、個人消費が停滞するなど厳しい状況となりました。

当業界におきましては、政府による全国一斉休校や外出自粛の要請を背景に、内食需要の高まりにより量販店やドラッグストアを中心に食パンや食卓ロールの取扱いが拡大する一方で、コンビニエンスストアやベーカリーなど小売業においては来店客数減少の影響を受け売上が伸び悩みました。

このような情勢下でありまして、当社グループは、「日々、お取引先からご注文いただいた品は、どんな試練や困難に出会うことがあっても、良品廉価・顧客本位の精神でその品を製造し、お取引先を通してお客様に提供する」という新しいヤマザキの精神、新しいヤマザキの使命のもと、新型コロナウイルス感染症拡大の中で生産体制を維持するため、出勤前の検温で37.2℃以上の微熱や発熱がある従業員は自宅待機とすることに加え、微熱や発熱がない場合でも、味覚や嗅覚がない、息苦しさや倦怠感があるなど、普段と比べ体調に異常や違和感があることを自覚した場合には、出勤せず上長に相談するなど感染防止対策を講じ、日常業務の着実な遂行に努めました。また、「厳選100品」を中心とした主力製品に、ルヴァン種を活用した品質向上と科学的根拠の上に立った消費期限の延長に取り組むとともに、市場動向に即応して、高品質・高付加価値・高単価製品を開発する一方で値頃感のある製品を投入するなど、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進しました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、週次管理・週次決算手法を導入して仕事の精度を高め、デイリーヤマザキの商品部と当社生産各部合同の週次商品施策・営業戦略小委員会等を通して、デイリーヤマザキ一店一店の課題に取り組み業績改善をめざしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,587億68百万円(対前年同期比99.8%)、営業利益は54億78百万円(対前年同期比95.8%)、経常利益は57億50百万円(対前年同期比92.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億58百万円(対前年同期比102.7%)となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門(売上高241億18百万円、対前年同期比102.7%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が大きく伸長し、「ダブルソフト」が堅調に推移するとともに、3月にはヤマザキの技術により科学的根拠の上に立って品質を向上させた「超芳醇」、「特撰超芳醇」が売上に寄与し、売上増となりました。

②菓子パン部門(売上高896億69百万円、対前年同期比99.0%)

菓子パンは、食卓ロールの「ルヴァンバターロール」が大きく伸長するとともに、「塩バターフランス」などのハードロールが伸長しましたが、新型コロナウイルスの影響によるコンビニエンスストア向けペストリー、ドーナツの伸び悩みや(株)ヴィ・ド・フランスなど小売事業の不振もあり、菓子パン部門全体の売上は前年同期を下回りました。

③和菓子部門(売上高187億57百万円、対前年同期比103.2%)

和菓子は、主力の串団子、大福、まんじゅう、どら焼きが好調に推移するとともに、「熟成厚焼きたまご風蒸しぱん」などのラップ包装の蒸しパンが伸長し、チルド製品の「クリームたっぷり生どら焼」が寄与するなど、好調な売上となりました。

④洋菓子部門(売上高351億57百万円、対前年同期比102.5%)

洋菓子は、高単価製品の寄与もあり2個入り生ケーキが伸長するとともに、スナックケーキのチルド製品「レーズンサンド」やコンビニエンスストア向けの生ケーキ、シュークリームが伸長するなど、好調な売上となりました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高366億94百万円、対前年同期比98.2%）

調理パン・米飯類は、「こだわりソースの焼きそばパン」や和紙包装のハンバーガーの伸長もあり調理パンは好調に推移しましたが、米飯類におきまして、コンビニエンスストア向けおにぎりや弁当の取引減少もあり、調理パン・米飯類部門全体の売上は前年同期を下回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高393億21百万円、対前年同期比98.5%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)東ハトの「ポテコ」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、「エアリアル」などのスナックが伸長しましたが、新型コロナウイルスの影響により不二家（杭州）食品有限公司の工場を一時閉鎖したこともあり、売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は2,437億18百万円（対前年同期比99.9%）、営業利益は55億45百万円（対前年同期比95.4%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、既存店売上の伸び悩みに加え店舗数の減少もあり、営業総収入は120億45百万円（対前年同期比95.1%）、営業損失は7億86百万円（前年同期は6億57百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は30億3百万円（対前年同期比111.1%）、営業利益は5億70百万円（対前年同期比137.0%）となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は7,034億38百万円で、前連結会計年度末に対して247億11百万円減少しました。流動資産は2,438億79百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して179億60百万円減少しました。固定資産は4,595億58百万円で、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に対して67億50百万円減少しました。負債合計は3,493億56百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済により、前連結会計年度末に対して203億75百万円減少しました。純資産は3,540億81百万円で、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に対して43億35百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は46.0%となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

政府の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令され、景気の先行き不透明感が高まる中で、外出自粛要請のもと、消費者の節約志向が更に強まるとともにコンビニエンスストアやペーカリーなど小売業においては一層厳しさが増すものと思われま。

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を行うとともに、食生活の基幹を担う製パン業としての社会的使命を遂行するため、改めて良品廉価・顧客本位のヤマザキの精神に立ち戻り、お客様の求める値頃感やボリュームのある製品開発を強化するとともに、科学的根拠の上に立った技術革新（イノベーション）による品質改善と製品開発に取り組むなど、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、売上確保をめざしてまいります。また、関係会社各社を担当する役付取締役をそれぞれ選任し、新型コロナウイルス対策の徹底を含めた管理体制を整備し、業績向上に取り組んでまいります。

2020年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、現時点で当社グループの業績に与える新型コロナウイルス感染症に係る影響額を算定することが困難であるため、2020年2月14日付にて公表いたしました業績予想値を据え置いております。今後の経営環境や業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、適時開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	111,112	118,132
受取手形及び売掛金	114,559	92,564
商品及び製品	12,178	12,071
仕掛品	653	796
原材料及び貯蔵品	10,978	9,827
その他	12,697	10,862
貸倒引当金	△342	△375
流動資産合計	261,839	243,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	386,532	387,374
減価償却累計額	△281,357	△282,989
建物及び構築物(純額)	105,175	104,384
機械装置及び運搬具	513,883	515,426
減価償却累計額	△425,345	△428,825
機械装置及び運搬具(純額)	88,538	86,601
工具、器具及び備品	35,475	36,226
減価償却累計額	△26,917	△27,236
工具、器具及び備品(純額)	8,557	8,990
土地	109,752	109,755
リース資産	10,496	10,338
減価償却累計額	△6,573	△6,634
リース資産(純額)	3,923	3,704
建設仮勘定	1,536	1,844
有形固定資産合計	317,483	315,280
無形固定資産		
のれん	13,658	13,353
その他	8,765	8,965
無形固定資産合計	22,424	22,319
投資その他の資産		
投資有価証券	72,361	67,382
長期貸付金	836	888
退職給付に係る資産	594	594
繰延税金資産	24,973	25,980
その他	30,479	29,969
貸倒引当金	△2,843	△2,857
投資その他の資産合計	126,401	121,958
固定資産合計	466,309	459,558
資産合計	728,149	703,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,805	71,394
短期借入金	49,293	49,147
リース債務	1,598	1,520
未払法人税等	6,817	3,265
未払費用	40,756	36,632
賞与引当金	4,437	13,084
販売促進引当金	1,117	1,173
店舗閉鎖損失引当金	0	-
資産除去債務	40	13
その他	41,204	30,767
流動負債合計	224,073	206,999
固定負債		
社債	90	-
長期借入金	22,904	20,532
リース債務	2,768	2,545
役員退職慰労引当金	3,818	3,896
環境対策引当金	20	19
退職給付に係る負債	104,646	104,001
資産除去債務	4,600	4,622
その他	6,809	6,737
固定負債合計	145,658	142,357
負債合計	369,732	349,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,667	9,660
利益剰余金	296,642	295,252
自己株式	△5,241	△5,241
株主資本合計	312,082	310,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,652	25,209
繰延ヘッジ損益	-	2
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	60	179
退職給付に係る調整累計額	△13,639	△12,914
その他の包括利益累計額合計	15,171	12,575
非支配株主持分	31,162	30,819
純資産合計	358,416	354,081
負債純資産合計	728,149	703,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	259,210	258,768
売上原価	166,635	166,561
売上総利益	92,574	92,206
販売費及び一般管理費	86,858	86,728
営業利益	5,716	5,478
営業外収益		
受取利息	22	26
受取配当金	92	75
固定資産賃貸収入	220	225
持分法による投資利益	31	92
補助金収入	214	-
雑収入	245	247
営業外収益合計	826	667
営業外費用		
支払利息	185	168
固定資産賃貸費用	69	84
雑損失	49	143
営業外費用合計	304	395
経常利益	6,237	5,750
特別利益		
固定資産売却益	23	14
その他	1	-
特別利益合計	25	14
特別損失		
固定資産除売却損	464	209
業務委託特別負担金	295	-
その他	118	37
特別損失合計	877	247
税金等調整前四半期純利益	5,385	5,518
法人税等	2,242	2,493
四半期純利益	3,142	3,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	262	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,879	2,958

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	3,142	3,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,459	△3,474
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	156	9
退職給付に係る調整額	598	728
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	9
その他の包括利益合計	4,199	△2,724
四半期包括利益	7,342	300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,956	361
非支配株主に係る四半期包括利益	386	△61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	243,840	12,667	2,702	259,210	—	259,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,981	1,589	8,635	12,206	△12,206	—
計	245,822	14,256	11,337	271,417	△12,206	259,210
セグメント利益又は損失(△)	5,811	△657	416	5,570	145	5,716

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額145百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	243,718	12,045	3,003	258,768	—	258,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,163	1,537	8,648	12,350	△12,350	—
計	245,882	13,583	11,651	271,118	△12,350	258,768
セグメント利益又は損失(△)	5,545	△786	570	5,329	149	5,478

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額149百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	23,481	9.1%	24,118	9.3%	636	102.7%
	菓 子 パ ン	90,601	35.0	89,669	34.7	△ 932	99.0
	和 菓 子	18,183	7.0	18,757	7.2	574	103.2
	洋 菓 子	34,305	13.2	35,157	13.6	851	102.5
	調理パン・米飯類	37,366	14.4	36,694	14.2	△ 672	98.2
	製菓・米菓・その他商品類	39,901	15.4	39,321	15.2	△ 580	98.5
	食 品 事 業 計	243,840	94.1	243,718	94.2	△ 122	99.9
	流 通 事 業	12,667	4.9	12,045	4.6	△ 621	95.1
	そ の 他 事 業	2,702	1.0	3,003	1.2	300	111.1
	合 計	259,210	100.0	258,768	100.0	△ 442	99.8

(2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	26,251	24,370	△1,881	△7.2%	664	148	△516	△77.7%
(株)サンデリカ	27,788	28,165	376	1.4	308	284	△24	△7.9
ヤマザキビスケット(株)	7,609	8,102	492	6.5	219	64	△155	△70.6
(株)ヴィ・ド・フランス	8,292	7,003	△1,288	△15.5	131	△473	△605	—
(株)東ハト	6,609	6,878	268	4.1	216	265	49	22.9

(3)2020年12月期第1四半期の単体業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	186,922	0.7	5,081	23.9	5,841	10.0	3,916	22.1
2019年12月期第1四半期	185,555	△0.8	4,101	△22.3	5,308	△15.0	3,208	△19.0

②単体財政状態

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
2020年12月期第1四半期	528,982		300,323	
2019年12月期	543,425		304,167	

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品種別	前第1四半期 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)		当第1四半期 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	23,679	12.8%	24,342	13.0%	662	102.8%
菓子パン	83,382	44.9	82,584	44.2	△797	99.0
和菓子	18,289	9.9	18,900	10.1	610	103.3
洋菓子	25,687	13.8	27,207	14.5	1,519	105.9
調理パン・米飯類	12,844	6.9	12,869	6.9	24	100.2
製菓・米菓・その他商品類	10,613	5.7	10,810	5.8	196	101.9
小計	174,497	94.0	176,714	94.5	2,216	101.3
デイリーヤマザキ事業	14,256	7.7	13,583	7.3	△673	95.3
内部消去	△3,199	△1.7	△3,376	△1.8	△177	—
合計	185,555	100.0	186,922	100.0	1,366	100.7

(5)単体営業利益増減の内訳

(単位:百万円)

	2019年 第1四半期		2020年 第1四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)	4,758	2.7	5,867	3.3	1,109	23.3
デイリーヤマザキ事業	△657	△4.6	△786	△5.8	△129	—
合計	4,101	2.2	5,081	2.7	979	23.9

<山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)増減内訳>

(単位:百万円)

	2019年 第1四半期		2020年 第1四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	55,489	31.8	56,814	32.2	1,324	2.4	売上高の増加 1,026 原材料費の減少 827 労務費の増加 ▲184 経費の減少 74 償却費の増加 ▲5 仕入品の増加等 ▲414
販売費及び一般管理費	50,731	29.1	50,946	28.8	215	0.4	人件費の増加 ▲271 経費の増加 ▲22 償却費の減少 78

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)の売上高に対する比率を記載しています。